

第12回 さようなら原発1000人集会（11月12日 14時～いたみホール） それでもあなたは原発をえらびますか？

福島原発事故が発生して以来12年間、兵庫・伊丹で「さようなら原発1000人集会」が開かれてきた。大江健三郎さんを始め運動の先達たちの経験を聴き、若い運動者の想いに共感しながら開かれてきた。今回は報道記者として世界取材し、最近TBS「報道特集」を牽引されてきた金平茂紀さんを迎える。多面的な報告が期待される。



岸田首相は昨年末に、突如として「原発推進」に政策を切り替えた。福島原発事故によって日本では「原発廃止」が国民世論であり、そして世界では多くの国が原発を縮小し、ドイツではついに全面停止した。世界では化石燃料発電の停止と同時に原発を廃止し、太陽光・風力・地熱などの再生可能エネルギーへの転換が進められている。

岸田政権はなぜ原発推進に突き進むのか

集会の最大の課題はこの問題。我々が住む地域の関電と九電が、原発再稼働・40年以上の老朽原発の稼働・使用済核燃料の貯蔵施設建設を推進している。これに反対し阻止することは我々の最大の課題である。

イスラエルはガザでの無差別殺戮を止めろ！ 米国はイスラエルへの支援を止めろ！ 世界はパレスチナ人民に連帯している

イスラエルはガザ地区に対する執拗で大規模な空爆を繰り返し、今では地上侵攻も開始している。それによって多くの子どもを含む死者が急増している。アラブ諸国だけでなく欧米諸国で、アフリカ、アジアで、世界で「ガザに自由を」「イスラエルは手を引け」「即時停戦」の声が高まっている。しかしイスラエルは「停戦」を拒否し、病院や避難地域への攻撃によって多数の市民と子どもたちを殺戮している。イスラエル建国時に比する規模のパレスチナ人に対するジェノサイドが始まっている。日本政府は国連で多数国が可決した「停戦」決議に賛成せず、逆にガザの合法政権であるハマスに敵対行動をしている。



75年間、そして最近激化した殺人攻撃に反撃するパレスチナの抵抗権は認められるべきであり、イスラエルこそが占領地から撤退し、パレスチナへの侵攻を止める。パレスチナ人の帰還権を認めるべきである。

陸上自衛隊と米海兵隊の最大規模の共同演習「レゾリュート・ドラゴン」に抗議する！ 日米一体となった「台湾有事」向けの実戦演習が北海道・九州・沖縄で展開された

陸上自衛隊と米海兵隊の共同訓練「レゾリュート・ドラゴン」が10月14日から31日まで、大分を含む5県と北海道で実施された。九州・沖縄を主な演習地として、中国を念頭に、離島防衛を想定した射撃訓練などを行う。

大分の日出生台、十文字原両演習場では陸自3000人、米軍1100人がオスプレイ8機、地对艦ミサイル、高機動ロケット砲システム「ハイマース」などを投入して離島を奪取する訓練、実弾射撃も行われた。



大分での反対行動



石垣島にオスプレイ

大型弾薬庫訓練も実施された

国が大型弾薬庫新設を予定する大分分屯地から沖縄・ホワイトビーチへ陸自コンテナを海上輸送する訓練も組み込まれ、また石垣島にオスプレイを初飛行させ、有事に負傷者が出たことを想定した訓練も行った。まさに大分は沖縄を戦場とした補給基地とされている。

大分で、沖縄で抗議行動

「レゾリュート・ドラゴン23」演習に抗議する集会が日出生台演習場前で開かれた。10月15日には「日出生台での米軍演習に反対する各界連絡会」が、

22日には「草の根の会・中津」が呼びかけて、「オスプレイ飛ばすな」「戦争につながる訓練はするな」と声を上げた。

沖縄・うるま市のホワイトビーチ前では10月20日に「弾薬庫建設・ミサイル配備ゆるさない市民集会」はゲート前で、陸上自衛隊の補給品が入った運搬車両の公道使用を阻止しようと座り込んで抗議行動した。オスプレイが飛来した沖縄県・石垣島でも抗議行動が行われた。

毎日のように演習が続く

11月10日～20日に民間の大分空港を使用して、陸海空自衛隊による戦闘機離発着訓練を実施をするとの発表もなされた。全国で行われる訓練は、自衛隊員3万人と米軍1万人が参加する大規模なもの。こうした訓練は、「地域の平和を壊し、住民を不安にする」訓練である。演習に反対し闘おう！

玉城知事「代執行」容認できない」と陳述 (朝日 10/21)

政府が憲法の「地方自治尊重」の規定を無視し、知事の権限を「代執行」という形で奪おうとすることに、玉置知事は「沖縄県の自主性・自立性を侵害するもので、容認出来ない」と陳述した。裁判は結審し、判決は後日。

規制委が川内原発の60年の運転延長 (朝日 11/1)

規制委は1日、九電川内原発の1、2号機について60年間までの運転延長を認可した。2年後には新制度で、より長期の運転が認められる。運転延長が認可されたのは関電高浜・美浜、日本原電東海に続き5、6番目。

全米自動車労組 25%賃上げを勝ち取る (朝日 11/1)

全米自動車労組(UAW)はストライキ闘争を背景に、GM、フォード、クライスラー等を傘下に持つステラントイスとの交渉で25%の賃上げ(4年半で)、物価上昇に应运じた賃上げ制度、年金の拡充が勝ちとった。

米国や英国では大規模なストが増えている。ストによる「労働損失日数」は過去20年ぶりの多さとなっている。

報告 神戸朝高ミニコンサート

11月4日に宝塚で、神戸朝鮮高級学校吹奏楽部のミニコンサートが開かれた。12月24日のコンサートのプレ企画として開かれた。



報告 11/3 輝け！憲法！平和といのちと人権を

11/3 憲法集会は約5000人の参加で開催された。清末愛砂さんの講演は、パレスチナ支援活動での経験をもとに、ガザ支援の闘いは日本憲法の規定する「平和的生存権」の実現のための闘いであり、等しく恐怖と欠乏から守られるための闘いであると話された。「自衛」という名で展開される空爆と攻撃、そしてガザの破壊は止めるべきだ。私たちはそのために出来ることは全てすべきだ。



引き続き沖縄の宮古島の清水早子さんが話された。

報告 もう終わっている「2025 大阪万博」は中止しかない！ 市民を不幸にする「夢洲カジノ計画」は撤回せよ！

2025年4月から開催される予定の「大阪・関西万博」は、まだ敷地にはほとんど建物は建っておらず、海外パビリオンはチェコとモナコの2ヶ国だけが仮申請中である。夢洲埋立地に無理やり「万博」を持ってきたのは、大阪維新がIR・カジノを夢洲に建設するためのインフラ建設を公費でさせるためである。まさに2兎を追うものは・・・である。

朝日新聞や読売新聞までが、「万博」の遅れを指摘している中で、大阪府が提供するAIチャットの「大ちゃん」に、「万博は中止ですか？」と質問すると「残念やけど中止やね」と回答したと報道。府職員は恐ろしくて言えないが、「大ちゃん」は正直。AIに聞くまでもなく、万博は中止するしかない。建設予算はすでに倍近くに上昇し、交通不便な夢洲埋立地で大量のパビリオンの建設、来春からの建設業の残業規制、建築業界ですら本音は「無理」。

たとえ開催されても、空き地だらけの魅力のない「万博」になる可能性が大である。

万博の中止はカジノの破綻に続く

当初の計画では「万博」が成功して、その翌年にはIR・カジノも事業を開始の計画。ところが IR 計画は大幅遅れ、賭博業者は撤退気味。大阪では米国のMGMに逃げられないように、パナソニックやオリックスに援助させ、賃料は世間の半値以下、そして開業予定の寸前まで業者が一時的な解約ができる「不平等契約」。にも関わらず、大阪は液状化対策やインフラ整備に税金を投入し続ける。一方でギャンブル依存症問題や住民合意、入場者数の問題など7点の国の問題指摘にも対応できていない。

案内 11/11 教科書全国集会 2023

「中学校教科書採択に向けて『今年の教科書採択から見えてきたもの』—市民と教員にもっと開かれた教科書採択を」をサブタイトルに、各地からの報告、高校生に対する自衛隊勧誘など盛沢山。

日時: 11日 14:00 場所: 国労大阪会館



案内 11/23 沖縄を再び戦場にさせない大阪集会

11月23日(祝)に、「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」が沖縄で県民大会を開く。これは「沖縄を再び戦場にしない、沖縄戦を繰り返さない」ための闘い。大阪でも共に闘うために集会とデモが呼びかけられている。ぜひ参加しよう！

日時: 11月23日 1:30~15:00 場所: 西梅田公園 から梅田までデモ



案内 11/26 日中友好45周年記念大阪集会

今年は日中平和友好条約締結45周年。その記念集会が開催されます。

講演: 梶本徳彦さん(日中友好協会)
インタビュー上映: 泉川友樹さん
発表・報告: 大阪城狛犬会 他
ウイグル歌舞団パフォーマンス

日時: 11月26日 14:00 場所: 国会会館



案内 12/3 とめよう！原発依存社会

岸田政権は福島原発事故の教訓を無視し、原発の60年超えの運転をめざしている。世界には40年を超えて稼働する原発はない。ぜひ集会に参加を！

日時: 12月3日 13:00 デモ: 14:30 場所: うつぼ公園 (地下鉄本町駅下車)



会場には何も建っていない

